

平成 30 年度 事業報告



救うことを、つづける。  日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

はな 救うこと、つづける。 4/24

 **日本赤十字社** 愛媛県支部
Japanese Red Cross Society

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965 年(昭和 40 年)にウィーンで開催された第 20 回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

は じ め に

日頃から赤十字事業の推進につきまして、関係者各位をはじめ、多くの県民の皆様から多大なるご支援とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

平成 30 年度においては、西日本を中心とした豪雨災害が発生し、愛媛県下においても甚大な被害が発生しました。赤十字においても、発災後直ちに現地に救護班を派遣したほか、毛布等の救援物資や災害時用トイレの設置、あわせて、こころのケア班も派遣し、被災者の精神面でのサポートも行ってきました。今後も引き続き、被災地の復興支援に努めて参りたいと思います。

さて、愛媛県支部は、今年 2 月にお陰様で設立 130 年という節目を迎えました。これもひとえに、赤十字のご支援に関わっていただいたすべての皆様のおかげであり、改めて、心から感謝申し上げます。

引き続き、赤十字の使命である「いのちと健康をまもる」ための事業を県内各地で実施し、災害救護事業や救急法等の各種講習普及事業など様々な活動を行ってまいります。

また、国内外で自然災害が多発するなか、災害救護を事業の柱とする赤十字の担う役割は、増大しており、南海トラフ巨大地震等にも備え、引き続き、一層の救護体制の強化に努めるべく、関係者一同思いを新たにしているところであります。

ここに、平成 30 年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和元年 5 月

日本赤十字社愛媛県支部

目 次

1. 評議員会・監査	1
2. 社業振興	1
活動資金募集実績額、社業振興に伴う会議・研修会、赤十字思想の普及、 愛媛県赤十字有功会の活動、赤十字事業支援自動販売機設置の促進	
3. 災害救護事業	4
救護資器材の整備、災害救護体制、救護員の派遣、救護員の訓練、救護員研修会、 地区分区担当者及び防災ボランティア災害対応研修会 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金、救援金等募集活動、臨時救護	
4. 日本赤十字社防災教育事業	10
5. 赤十字各種講習	10
ワールドファーストエイドデー、救急法、健康生活支援講習、 幼児安全法、水上安全法	
6. 赤十字奉仕団	22
結成状況、事業概要	
7. 青少年赤十字	25
加盟状況、事業概要	
8. 保健福祉事業	29
赤十字巡回健康講座、ひだまり赤十字、ぬくもり子育て広場、 手つなぎ防災ひろば、赤十字健康大学	
9. 国際活動	34
10. 医療事業	35
11. 血液事業	36
12. 看護師養成	37
13. 役員	38

1. 評議員会・監査

(1) 平成 29 年度会計監査・業務監査(5 月 30 日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の平成 29 年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの平成 29 年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 平成 29 年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 平成 29 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 平成 29 年度血液事業報告について

(2) 平成 30 年度第 1 回評議員会(6 月 7 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 平成 29 年度一般会計歳入歳出決算について
- 第 2 号議案 平成 29 年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第 3 号議案 平成 29 年度血液事業報告について

(3) 平成 30 年度第 2 回評議員会(2 月 5 日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第 1 号議案 平成 31 年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第 2 号議案 平成 31 年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第 3 号議案 平成 31 年度血液事業計画(案)について

2. 社業振興

日本赤十字社は、会員等の支援者から拠出される活動資金によって、災害救護活動等さまざまな事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に町内会、自治会、奉仕団、法人の皆さまのご協力によって支えられています。

平成 30 年度は、活動資金の安定的確保を図るため、法人への勧奨強化、戸別訪問やダイレクトメールによる募集、寄付金付自動販売機設置の提案などを積極的に実施しました。

その結果、平成 30 年度は、194,167,572 円のご協力をいただきました。少子高齢化や地域コミュニティの希薄化は活動資金にも影響し、年々活動資金は減少傾向にあります。今後は企業とのタイアップ事業や、寄付金付自動販売機の促進に努めてまいります。

活動資金募集に関する状況は、次のとおりであります。

(1) 活動資金募集実績額

市町名		目標額 (円)	実 績 額 (円)			対目標額(円)	達成率 (%)
			地区分区募集分	本社口座振替分	計		
市	松 山 市	66,170,000	47,664,950	1,258,724	48,923,674	△17,246,326	73.9
	今 治 市	22,577,000	18,821,842	730,000	19,551,842	△3,025,158	86.6
	宇和島市	11,202,000	9,801,299	46,000	9,847,299	△1,354,701	87.9
	八幡浜市	5,341,000	5,163,180	86,000	5,249,180	△91,820	98.3
	新居浜市	16,504,000	11,748,229	240,000	11,988,229	△4,515,771	72.6
	西 条 市	15,829,000	13,318,136	110,000	13,428,136	△2,400,864	84.8
	大 洲 市	6,594,000	5,781,458	30,000	5,811,458	△782,542	88.1
	伊 予 市	5,630,000	4,734,849	74,000	4,808,849	△821,151	85.4
	四国中央市	12,474,000	13,131,494	90,000	13,221,494	747,494	106.0
	西 予 市	6,073,000	5,815,499	7,000	5,822,499	△250,501	95.9
	東 温 市	4,839,000	4,175,760	91,000	4,266,760	△572,240	88.2
	小計	173,233,000	140,156,696	2,762,724	142,919,420	△30,313,580	82.5
町	上 島 町	983,000	1,032,000	60,000	1,092,000	109,000	111.1
	久万高原町	1,369,000	1,357,600	15,000	1,372,600	3,600	100.3
	松 前 町	4,280,000	4,351,100	24,000	4,375,100	95,100	101.8
	砥 部 町	3,162,000	2,651,322	82,000	2,733,322	△428,678	86.4
	内 子 町	2,680,000	2,703,400	32,000	2,735,400	55,400	102.1
	伊 方 町	1,600,000	2,003,931	0	2,003,931	403,931	132.4
	松 野 町	559,000	620,000	0	620,000	61,000	110.0
	鬼 北 町	1,620,000	1,430,847	16,000	1,446,847	△173,153	89.3
	愛 南 町	3,316,000	3,030,000	0	3,030,000	△286,000	91.4
	小計	19,569,000	19,180,200	229,000	19,409,200	△159,800	99.2
支 部	一 般	9,000,000	—	—	22,731,184	—	—
	ダイレクトメール	—	—	—	9,107,768	—	—
	小計	9,000,000	—	—	31,838,952	—	—
県合計		201,802,000	159,336,896	2,991,724	194,167,572	△7,634,428	96.2

(※病院への使途指定寄付金は除く。)

(2) 社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区分区職員研修会	4月23日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 平成30年度支部事業計画について 2. 活動資金募集について ・平成29年度社資募集実績について ・活動資金募集に伴う事務処理等について ・地区分区交付金について 3. 各種事業について

地区・分区長並びに 地区・分区主管課長合同会議	1 月 24 日 日本赤十字社 愛媛県支部	1. 平成 30 年度活動資金募集等について 2. 平成 31 年度活動資金募集目標額(案)について 3. 平成 31 年度支部事業計画(案)について 4. 地区分区における赤十字事業について
----------------------------	-----------------------------	---

(3) 赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力要請を図るとともに、赤十字運動月間中には、松山市役所別館、松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内バスの車内放送を行い、赤十字活動資金への協力要請を実施しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めました。

①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行)	1,200 部(5 月と 12 月は 1,000 部追加)
②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用)	2,000 枚
リーフレット	10,000 枚
広報用チラシ	378,315 枚

(4) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

平成 31 年 3 月末現在の会員数は、個人 73 名、法人 113 社、計 186 会員です。



(5) 企業様の CSR 活動のお手伝い

愛媛県支部は、企業様の社会貢献活動の一環として、「赤十字寄付金付自動販売機」や「募金箱の設置」「赤十字支援マーク」の促進を行っています。

気軽にできる社会貢献活動として、多くの企業様からご活用いただいております。

※平成 31 年 3 月末の県内の「赤十字寄付金付自動販売機」の設置数は 76 台です。



3. 災害救護事業

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号 9 により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

平成 30 年度も、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が多発しました。特に 7 月に起きた豪雨災害の際には、県内で大きな被害が発生した宇和島市・大洲市・西予市で救護活動等を行いました。

(1) 平成 30 年 7 月豪雨災害救護活動

7 月に発生した豪雨災害の際には、県内で大きな被害が発生した宇和島市・大洲市・西予市で医療救護活動や被災者及び支援者に対して、こころのケア活動を行いました。また、避難所の生活環境調査や救援物資の配布、義援金の募集等も行いました。

○救護班第 1 班 (5 名)	7 月 9 日～10 日	西予市・大洲市
○こころのケア班第 1 班 (3 名)	7 月 13 日	大洲市
こころのケア班第 2 班 (3 名)	7 月 21 日～22 日	宇和島市
こころのケア班第 3 班 (3 名)	7 月 23 日～24 日	宇和島市
こころのケア班第 4 班 (3 名)	7 月 23 日～25 日	大洲市
こころのケア班第 5 班 (16 名)	8 月 21 日・25 日～31 日	西予市
○松山赤十字病院DMAT 班 (9 名)	7 月 10 日～12 日	松山市・八幡浜市
○リエゾン (調整員) の派遣 (8 名)	7 月 8 日～15 日	愛媛県災害対策本部
○救援物資の配布		
毛布 (200 枚)・緊急セット (60 セット)	大洲市	
安眠セット (100 セット)・タオル (100 枚)	西予市	
ラップポイントイレの設置 (76 台)	宇和島市・大洲市・西予市	
ミスト発生機能付き大型送風機の設置 (5 台)	宇和島市・大洲市・西予市	



(2) 救護資器材の整備

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、本年度、下記救護資器材の整備及び更新を行いました。

・災害救護用携帯型無線機（150MHz帯）	3 式
・災害救護用携帯型無線機（400MHz帯）	9 式
・インバーター発電機	1 台
・四つ折伸縮担架（アルミ製）	5 台
・酸素流量調整器（フロージェントル）	3 台
・手動式吸引器（緊急用アスピレーター）	1 台
・血中酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）	3 台
・災害救護活動用パソコン	3 台
・災害救護活動用プリンター	1 台

(3) 災害救護体制

「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員（2班）、常備救護班要員（8班）を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

- ①日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員 7名
- ②日本赤十字社愛媛県支部常備救護班 48名
(医師8名・看護師長8名・看護師16名・主事16名)
- ③日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員 4名



(4) 救護員の訓練

①松山市総合防災訓練

- ・月 日 10月28日(日)
- ・場 所 愛媛大学教育学部附属小学校グラウンド
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部2名
- ・種 目 災害現場における救護訓練
傷病者役として松山赤十字看護専門学校学生参加

②松山空港航空機事故対処総合訓練

- ・月 日 11月7日(水)
- ・場 所 松山空港制限区域内
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部1名
- ・種 目 災害現場における救護訓練

③中予地区消防長会合同訓練(特殊災害対応訓練)

- ・月 日 2月26日(火)
- ・場 所 松山市堀之内 松山市市民会館
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部1名
- ・種 目 応急救護所における救護訓練



(5) 救護員研修会

日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、松山赤十字病院と協力し、次のとおり開催しました。

○研修会開催日及び受講者数

8月25日(土)	8:30~17:00	44名
10月13日(土)	8:30~17:00	46名
12月22日(土)	9:00~17:00	37名

○研修会場及び内容

会 場 日本赤十字社愛媛県支部

内 容

- (1) 医療救護活動における通信・情報伝達・記録について
- (2) 通信機器（無線・衛星電話）取扱いについて（演習）
- (3) トリアージについて
- (4) START 法による一次トリアージについて
- (5) トリアージタグについて
- (6) 出動シミュレーションについて
- (7) 医療資器材の取り扱いについて
- (8) 救護所内活動（医師・看護師・主事）について
- (9) 救護員のこころのケアについて
- (10) 机上訓練（参集から活動まで）
- (11) 災害診療記録
- (12) 出動準備・災害時情報共有と発信



(6) 赤十字防災ボランティア研修会

災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をする、愛媛県支部に登録しています赤十字防災ボランティアの方の、災害時における知識等の育成を目的に実施しています。また、本研修会には、「愛媛県学生赤十字奉仕団」へも参加を呼びかけています。

○開催日及び参加者

2月3日（日） 10：00～16：00 参加者 23 名

○講習会場及び内容

会 場 日本赤十字社愛媛県支部

内 容

- (1) 講演 「災害時のボランティア活動」
- (2) 講演・実技 「災害エスノグラフィー」
「災害時におけるこころのケアについて」
- (3) 報告 「平成 30 年 7 月豪雨災害に対する日赤愛媛県支部の活動について」



(7) 臨時救護

西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等を派遣しました。30 年度は、7 月豪雨ため石鎚山お山開き臨時救護も 3 班の派遣を計画していましたが、1 班だけの派遣となりました。

30 年度における実施状況は次のとおりであります。

行 事 名	派遣日	日数	派遣救護員延人数		取扱患者	備考
			看護師	主事		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	4月10日	1	1	0	0	
石鎚山お山開き	7月1日～7月4日	4	12	0	17	成就社
松山まつり	8月10日～12日	3	3	0	3	
愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	10月10日	1	1	0	0	
P T A 四国ブロック研究大会 愛媛大会	10月21日	1	1	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	10月20日・21日 11月11日	3 5会場	5	0	4	
愛媛県人権教育研究大会	11月8日	1	1	0	1	
合 計		14	24	0	25	

(8) 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者1人に1枚、緊急セットを原則として被災世帯1世帯に1個配布しました。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、1世帯につき見舞金20,000円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、1名につき弔慰金20,000円を贈呈しました。※災害見舞金及び災害死亡者弔慰金の贈呈については県内に災害救助法(昭和22年10月18日付法律第118号)が適応された場合は適応除外となります。

贈呈状況は次のとおりであります。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット	タオルケット	弔慰金(円)
松山市	40	24			140,000
今治市	30	24			60,000
宇和島市					20,000
八幡浜市	100	60			
新居浜市	20	12			20,000
西条市	10	12			
大洲市	200	60			
伊予市					40,000
四国中央市	50				
西予市	10	6	100	100	
東温市	10				
内子町	10				20,000
合 計	40	24	100	100	300,000

4. 日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、新たに全国各支部において「日本赤十字社防災事業」を展開いたしました。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測されます大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおけます「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や、赤十字奉仕団を対象とした、日本赤十字社防災教育事業を実施しています。

30年度における実施状況は次のとおりであります。

	開催日	場 所	参加者数
1	9月10日	八幡浜市文化会館	60
2	9月13日	伊予市佐礼谷生活改善センター	40

3	9月14日	伊方町町見公民館	24
4	9月26日	北条コミュニティセンター	53
5	2月3日	愛媛県支部	21
6	2月26日	大洲市総合福祉センター	99
7	2月28日	西予市教育保健センター	63
8	3月16日	東温市川内公民館	51
合 計			411

5. 赤十字各種講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催いたしました。

救急法等講習や救護活動、ボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、安全赤十字奉仕団の協力のもと、ワールドファーストエイドデーを開催しました。

(1) ワールドファーストエイドデー

- ・ 月 日 9月9日（土）
- ・ 会 場 伊予郡松前町「エミフル MASAKI」
- ・ 内 容 救護服を着用し記念撮影
 応急手当ミニコーナー
 （成人・幼児に対するAED・包帯法等）
 赤十字事業展示コーナー（歴代の救護服・救護資器材・救援物資等展示）
 血圧測定・体脂肪測定コーナー・ぬりえコーナー・撮影コーナー



(2) 救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器(AED)の使用法及び応急手当の普及に努めました。



①基礎講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月7日・8日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	12
2	6月21日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	31
3	7月7日	住友化学研 (新居浜市)	16
4	7月23日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	35
5	7月30日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	36
6	8月14日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	24
7	9月29日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	26
8	10月25日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	20
9	11月6日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	9
10	1月14日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	24
11	2月6日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	18
12	3月7日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	7
合 計			258

②救急員養成講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月15日・16日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	16
2	5月15日・16日・ 22日・23日・24日 (5日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	6
3	7月24日・25日・26日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	35

4	7月31日・8月1日・2日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	36
5	8月15日・16日・17日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	18
6	10月6日・7日・8日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	21
7	11月20日・27日・29日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	14
8	1月26日・27日・2月2日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	13
9	2月12日・14日・15日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	11
合 計			170

③短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	4月3日	愛媛パールズ体操スクール余戸教室 松山市	7
2	4月8日	松山市西側集会所 松山市	63
3	4月18日	グループホームすみれの家 松山市	11
4	4月21日	松山短期大学 松山市	76
5	4月21日	松山短期大学 松山市	76
6	5月7日	大平集会所 砥部町 伊予郡	15
7	5月9日	西条市役所 丹原B&G海洋センター 西条市	69
8	5月9日	西条市役所 丹原B&G海洋センター 西条市	69
9	5月10日	松山市総合コミュニティセンター サブアリーナ 松山市	20
10	5月15日	愛媛県立松山商業高等学校 松山市	33
11	5月18日	愛媛県立宇和島南中等教育学校 宇和島市	53
12	5月23日	愛媛大学附属高等学校 松山市	28
13	5月24日	愛媛大学附属高等学校 松山市	127
14	5月29日	愛媛県在宅介護研修センター 松山市	27
15	5月29日	参川福祉館 内子町	10
16	5月30日	松山市立伊台小学校 松山市	30
17	5月31日	伊方スポーツセンター 伊方町	11
18	6月3日	テクスポート今治 今治市	198
19	6月4日	愛媛大学教育学部附属小学校 松山市	24
20	6月5日	松山市立雄新中学校 体育館 松山市	102
21	6月5日	松山市立雄新中学校 体育館 松山市	131
22	6月5日	新居浜公民館 新居浜市	22
23	6月13日	訪問介護事業所 気楽 松山市	14

24	6月14日	新居浜公民館	新居浜市	20
25	6月14日	住鋁物流株式会社	新居浜市	47
26	6月15日	住鋁物流株式会社	新居浜市	33
27	6月15日	南宇和郡教育会館	愛南町	15
28	6月18日	松山大学	松山市	47
29	6月20日	松山市立湯山小学校 体育館	松山市	73
30	6月21日	愛南町立長月小学校	愛南町	47
31	6月23日	惣開公民館	新居浜市	20
32	6月26日	松山市立南中学校 体育館	松山市	41
33	6月27日	松山市立久枝小学校 体育館	松山市	60
34	6月28日	松山東雲中学校・高等学校	松山市	34
35	6月29日	愛媛県立北条高等学校 武道場	松山市	16
36	6月29日	今治市立桜井小学校 体育館	今治市	47
37	7月2日	松山大学	松山市	47
38	7月3日	松山市立雄新中学校 体育館	松山市	76
39	7月3日	松山市立雄新中学校 体育館	松山市	117
40	7月3日	松野町立松野中学校	松野町	中止
41	7月4日	愛媛県立松山南高等学校 卓球場	松山市	64
42	7月4日	愛媛県生涯学習センター（音楽リズム研修室）	松山市	22
43	7月5日	八幡浜市中央公民館 保内別館 1階和室	八幡浜市	28
44	7月10日	松野町立松野中学校	松野町	106
45	7月10日	今治市大三島保健センター	今治市	中止
46	7月11日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
47	7月11日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
48	7月12日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
49	7月12日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
50	7月13日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
51	7月13日	松山市立南中学校 体育館	松山市	中止
52	7月12日	伊方町立三崎小学校	伊方町	60
53	7月12日	久万高原町立面河小学校 多目的室	久万高原町	18
54	7月13日	新居浜市総合福祉センター	新居浜市	12
55	7月17日	愛媛県立北条高等学校 武道場	松山市	中止
56	7月20日	松山市医師会 柳井町事業所 2階会議室	松山市	25
57	8月1日	愛媛県生涯学習センター（演劇レッスン室）	松山市	50
58	8月8日	江戸岡地区公民館	八幡浜市	44
59	8月9日	松山大学	松山市	25
60	8月9日	松山市立雄新中学校 体育館	松山市	55
61	8月10日	松山大学	松山市	20
62	8月24日	愛媛県立松山中央高等学校	松山市	63

63	8月24日	松山市社会福祉協議会	松山市	135
64	8月29日	松山城南高等学校 看護棟 2階実習室	松山市	43
65	8月31日	八瀬集会所	砥部町	28
66	9月9日	エミフル MASAKI	伊予市	201
67	9月12日	潮見公民館	松山市	20
68	9月12日	訪問介護事業所 気楽	松山市	19
69	9月20日	松山大学	松山市	26
70	9月20日	新居浜公民館	新居浜市	22
71	9月21日	今治市立日高小学校	今治市	100
72	9月25日	愛媛県立松山南高等学校 南風館	松山市	68
73	9月28日	新居浜公民館	新居浜市	24
74	10月2日	四国中央市立中之庄小学校	四国中央市	73
75	10月3日	八幡浜市大島開発総合センター	八幡浜市	18
76	10月3日	松山市立南中学校 体育館	松山市	115
77	10月3日	松山市立南中学校 体育館	松山市	78
78	10月4日	松山市立南中学校 体育館	松山市	101
79	10月4日	松山市立南中学校 体育館	松山市	67
80	10月5日	松山市立南中学校 体育館	松山市	109
81	10月5日	松山市立南中学校 体育館	松山市	73
82	10月9日	松山市石井公民館 越智分館	松山市	16
83	10月15日	今治市立吉海小学校	今治市	67
84	10月23日	久枝公民館	松山市	16
85	10月30日	東温市立上林小学校	東温市	69
86	11月14日	今治市大三島保健センター	今治市	27
87	11月15日	四国中央市立妻鳥小学校	四国中央市	90
88	11月26日	和気公民館	松山市	18
89	11月28日	愛光学園 ドミニカンセンター	松山市	31
90	12月4日	四国中央市立寒川小学校	四国中央市	84
91	12月9日	ASRE 和えだまつ	松山市	15
92	12月19日	堀江公民館	松山市	31
93	12月20日	ひめぎんホール別館	松山市	49
94	1月9日	愛媛大学医学部看護学科棟3階 成人看護実習室	東温市	40
95	1月16日	ホテル花ゆづき	松山市	18
96	1月25日	松山城南高等学校 体育館	松山市	100
97	1月27日	愛媛県立中央病院	松山市	51
98	1月28日	四国中央市松柏公民館	四国中央市	102
99	2月6日	愛媛県薬業協会	松山市	38
100	2月7日	新居浜公民館	新居浜市	22
101	2月15日	松山城南高等学校 看護棟 2階実習室	松山市	100

102	2月19日	KS会館 2階	四国中央市	19
103	2月25日	宮内地区公民館	八幡浜市	30
104	3月1日	まちコムスポット てくるん	松山市	15
105	3月23日	カーブス枝松	松山市	46
合 計				4,962

④救急員資格継続研修

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5 月 15 日	日本赤十字社愛媛県支部	1
2	2 月 24 日	日本赤十字社愛媛県支部	33
3	2 月 25 日	日本赤十字社愛媛県支部	32
合 計			66

① 指導員養成講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	11 月 10 日・11 日・ 18 日・23 日・24 日 (5 日間)	日本赤十字社愛媛県支部 3 階 救急法等講習室	10
合 計			10

(3) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助方法や応急手当の知識と技術の普及に努めました。



※平成30年7月豪雨災害により中止となった講習が多く、写真については平成29年度に実施したものとなります。

①救助員養成講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月7日～15日 (3日間)	松山大学御幸キャンパスプール・日本赤十字社愛媛県支部	中止

2	7月18日・19日 (2日間)	伊予市五色浜海水浴場	中止
合 計			0

②短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月9日	西条市役所 丹原B&G海洋センター	69
2	5月9日	西条市役所 丹原B&G海洋センター	69
3	5月10日	松山市総合コミュニティセンター (プール)	20
4	5月17日	松山市総合コミュニティセンター (プール)	32
5	5月17日	松山市総合コミュニティセンター (プール)	32
6	5月31日	伊方スポーツセンター (プール)	11
7	6月29日	今治市立菊間小学校 プール	45
8	7月18日	ウェルピア伊予 (プール)	150
合 計			428

③救助員資格継続研修

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月7日	日本赤十字社愛媛県支部・松山大学御幸キャンパスプール	中止
2	3月21日	日本赤十字社愛媛県支部・松山市総合コミュニティセンター (プール)	2
合 計			2

(4) 健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな高齢期を過ごすために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。



① 支援員養成講習

番号	期 日	場 所	受講者数
1	7月10日・17日・19日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	災害にて 中止
2	9月27日・10月31日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	13
3	12月1日・2日・9日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	4
4	2月18日～20日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	32
5	3月4日～6日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	34
合 計			83

② 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	5月15日	北条コミュニティーセンター (松山市)	71
2	5月21日	南久米公民館 (大洲市)	17
3	5月23日	今治市大三島保健センター	31
4	5月30日	七宝台自治会 (新居浜市)	20
5	6月5日	コープえひめ (松山市)	13
6	6月12日	北黒田公民館 (松前町)	36
7	6月27日	川上地区公民館 (八幡浜市)	57
8	6月28日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	13
9	7月11日	愛媛看護研修センター・愛媛看護会館 (松山市)	17
10	7月13日	新居浜市総合福祉センター	12
11	7月20日	宮窪公民館 (今治市)	36
12	7月25日	愛媛県生涯学習センター (松山市)	18
13	7月27日	愛媛県警察学校 (松前町)	65
14	8月6日	桑原公民館 三町分館 (松山市)	20
15	8月9日	愛媛県在宅介護研修センター (松山市)	32
16	8月24日	松山市役所石井支所	82
17	8月27日	今治市大西老人福祉センター	11
18	8月31日	愛媛県歴史文化博物館 (西予市)	30
19	9月5日	今治市伯方福祉センター	26
20	9月9日	エミフルMASAKI (松前町)	249

21	9月10日	今治市大三島保健センター	42
22	9月13日	八幡浜市J A日土出張所	20
23	9月13日	佐礼谷生活改善センター (伊予市)	40
24	9月14日	町見公民館 (伊方町)	24
25	9月18日	東石井公民館 (松山市)	33
26	9月20日	美浜公民館 (松山市)	15
27	9月25日	西条市総合福祉センター	70
28	9月25日	垣生公民館 (新居浜市)	27
29	9月26日	北条コミュニティーセンター (松山市)	53
30	9月27日	総合福祉センター (新居浜市)	20
31	10月4日	宇和間集会所 (松山市)	33
32	10月4日	西条市丹原文化会館	572
33	10月11日	向陽ハイツ集会所 (松山市)	17
34	10月13日	東鷹の子分館 (松山市)	28
35	10月21日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	27
36	10月23日	三崎保健福祉センター (伊方町)	36
37	10月26日	上野団地集会所 (松山市)	30
38	10月27日	放射線第一病院 (今治市)	30
39	11月5日	宮窪公民館 (今治市)	38
40	11月9日	愛媛県警察学校 (松前町)	11
41	11月9日	浮穴公民館 (松山市)	53
42	11月10日	松山赤十字病院	112
43	11月12日	総合福祉センター (新居浜市)	22
44	11月19日	東野上公民館 (松山市)	16
45	11月20日	道後公民館 (松山市)	18
46	11月22日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	13
47	11月26日	素鷲分館 (松山市)	23
48	11月27日	コープ東本 (松山市)	16
49	11月28日	総合福祉センター (新居浜市)	12
50	11月29日	内宮ふれあいセンター (松山市)	13
51	12月5日	雄郡公民館 (松山市)	50
52	12月6日	伊予市保健センター	20
53	12月14日	今治市吉海老人福祉センター	26
54	12月15日	雄郡公民館 (松山市)	45
55	1月13日	エミフルMASAKI (松前町)	45
56	1月17日	御荘文化センター (愛南町)	36
57	1月27日	新居浜市高木自治会館	25
58	1月28日	今治市大三島保健センター	30
59	1月30日	コープ東本 (松山市)	18

60	1月31日	神山地区公民館 (八幡浜市)	32
61	2月13日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	30
62	2月20日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	32
63	3月1日	てくるん (松山市)	15
64	3月6日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	34
65	3月19日	三崎保健福祉センター (伊方町)	25
66	3月20日	鷹の子病院 (松山市)	30
67	3月24日	松山市西側集会所 (松山市)	56
合 計			2,870

③ 支援員資格継続研修

番号	月 日	場 所	受講者数
1	12月2日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
2	1月21日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	6
合 計			6

(5) 幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



① 支援員養成講習

番号	期 日	場 所	受講者数
1	6月17日～24日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	6
2	8月20日・28日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	10
3	10月27日・28日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	7

4	1月21日～25日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	4
5	2月26日～28日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
6	3月12日～14日 (3日間)	日本赤十字社愛媛県支部講習室	26
合 計			81

② 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	5月15日	コープ久米 (松山市)	11
2	5月17日	道後聖母幼稚園 (松山市)	66
3	5月24日	砥部町中央公民館	10
4	6月3日	テクスポーツ今治	198
5	6月9日	こどものくに保育園 (松山市)	11
6	6月18日	愛媛大学教育学部付属幼稚園 (松山市)	36
7	6月26日	東温市中央公民館	41
8	6月29日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	13
9	7月5日	松前町総合福祉センター	20
10	7月5日	日本赤十字社愛媛県支部講習室 (松山市)	3
11	7月26日	国立大洲青少年交流の家	84
12	8月8日	和泉保育園 (松山市)	9
13	8月23日	和泉保育園 (松山市)	11
14	9月9日	エミフルMASAKI (松前町)	201
15	9月10日	今治市大三島保健センター	42
16	9月14日	砥部町保健センター	7
17	9月21日	今治市立日高小学校	100
18	9月26日	愛媛県男女共同参画センター (松山市)	7
19	10月2日	四国中央市立中ノ庄小学校	73
20	10月3日	東温市川内健康センター	41
21	10月15日	今治市立吉海小学校	67
22	10月20日	松山市総合福祉センター	37
23	10月30日	東温市立上林小学校	69
24	11月7日	エミフルMASAKI (松前町)	48
25	11月15日	四国中央市妻鳥小学校	90
26	11月22日	松山市男女共同参画推進センターコムズ (松山市)	13
27	12月3日	城辺保健福祉センター	13

28	12月4日	四国中央市立寒川小学校	84
29	1月11日	松山東雲女子大学 (松山市)	21
30	1月15日	新谷公民館 (大洲市)	25
31	1月16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	4
32	1月18日	松山東雲女子大学 (松山市)	27
33	1月28日	松柏公民館 (四国中央市)	100
34	1月31日	川之江ふれあい交流センター (四国中央市)	21
35	2月18日	山路白鳩つどいの広場 (今治市)	13
36	2月21日	雄郡公民館 (松山市)	25
37	3月9日	平井保育園 (松山市)	22
38	3月23日	生石保育園 (松山市)	24
合 計			1,687

③ 支援員資格継続研修

番号	月 日	場 所	受講者数
1	12月9日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	9
2	1月23日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	5
合 計			14

5. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

当支部では、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会と連携を取り、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、東予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により赤十字奉仕団の普及育成に努めました。また、青少年赤十字メンバーや学生赤十字奉仕団員の OB・OG によって構成されている個人ボランティアの登録者数は16名となり、活動に取り組んでいます。

結成状況及び事業概要は次のとおりであります。

(1) 結成状況

種 別	団 数	人 数
地域赤十字奉仕団	55	13,461
青年(学生)赤十字奉仕団	7	188
特殊赤十字奉仕団	3	268
合 計	64	13,917



①地域赤十字奉仕団

奉仕団名			備考
市	松山市		2団
	内訳	松山市	
		松山市北条	
	今治市		11団
	内訳	今治市今治	休団中
		今治市玉川	
		今治市波方	
		今治市大西	
		今治市菊間	
		今治市吉海	
		今治市宮窪	
		今治市伯方	
		今治市上浦	
		今治市大三島	
		今治市関前	
	宇和島市		4団
	内訳	宇和島市宇和島	
		宇和島市吉田	
		宇和島市三間	
		宇和島市津島	
	八幡浜市		1団
	内訳	八幡浜市・八幡浜保内	
	新居浜市		1団
	内訳	新居浜市	
	西条市		3団
	内訳	西条市西条	
		西条市東予	
		西条市周桑	
	大洲市		2団
	内訳	大洲市大洲	
		大洲市肱川	
	伊予市		1団
	内訳	伊予市	
	四国中央市		3団
	内訳	四国中央市川之江	
		四国中央市伊予三島	

奉仕団名			備考
市	西予市		5団
	内訳	西予市明浜	休団中
		西予市宇和	
		西予市野村	
		西予市城川	休団中
		西予市三瓶	
	東温市		1団
内訳	東温市		
越智	上島町		4団
	内訳	上島町魚島	
		上島町弓削	
		上島町生名	
		上島町岩城	
上 浮 穴	久万高原町		4団
	内訳	久万高原町久万	
		久万高原町面河	
		久万高原町美川	
		久万高原町柳谷	
伊予	松前町		1団
	内訳	松前町	
	砥部町		1団
	内訳	砥部町	
喜多	内子町		1団
	内訳	内子町	
西 宇 和	伊方町		3団
	内訳	伊方町伊方	
		伊方町瀬戸	
		伊方町三崎	
北 宇 和	松野町		1団
	内訳	松野町	
	鬼北町		1団
	内訳	鬼北町	
南 宇 和	愛南町		5団
	内訳	愛南町内海	休団中
		愛南町御荘	
		愛南町城辺	

	四国中央市新宮	
--	---------	--

	愛南町一本松	休団中
	愛南町西海	

②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青年・学生	愛媛大学	
	松山大学	
	松山赤十字看護専門学校	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中
	愛媛県青年	休団中

③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特殊	愛媛県アマチュア無線	
	愛媛県安全	
	愛媛県青少年赤十字賛助	



(2) 事業概要

①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団中央委員会	5月31日～6月1日	東京都 本社	1
HIV/AIDS ヒア・リーダー養成研修会 (青年奉仕団)	6月23日～24日	京都府 あうる京北	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 ・総会(4日は第1回役員会)	7月4日～6日	東京都 本社	1
赤十字ボランティア・リーダー研修会 (地域・青年奉仕団)	8月25日～27日	東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター	2
赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月7日	東京都 本社	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2回役員会	2月28日 ～3月1日	東京都 本社	1

②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団 連絡協議会代表者会議	6月2日～3日	広島県 広島市	4

中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団 研修会	8月31日 ～9月2日	香川県 高松市	3
中国四国赤十字奉仕団協議会	9月26日～27日	香川県 高松市	2
中国・四国ブロック青少年赤十字賛助 奉仕団連絡協議会・研修会	10月11日～12日	山口県 山口市	2
中国・四国赤十字奉仕団研修会	11月7日～8日	鳥取県 鳥取市	2

③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月24日	日赤愛媛県支部	49
青年赤十字奉仕団連絡協議会総 会・研修会	6月16日	日赤愛媛県支部 研修室	44
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県 大会	11月17日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	220
愛媛マラソン救護ボランティア	2月10日	松山市	28
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会 役員会	2月18日	日赤愛媛県支部	12
南予地域赤十字奉仕団リーダー養 成研修会	2月26日	大洲市総合福祉センター	102
赤十字手つなぎボランティア	5月を中心に年間 を通して	県下各地	4,528

6. 青少年赤十字

青少年赤十字は、児童・生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

当支部では、愛媛県教育委員会及び愛媛県青少年赤十字指導者協議会等と連携し、指導者講習会、高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター、研究会等を実施するとともに、「愛媛県青少年赤十字だより」を発行し、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」児童・生徒の育成に努めています。

また、青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりであります。



(1) 加盟状況

30 年度 新加盟校 15 校 (保 1・幼 4・小 7・中 2・高 1)

※ ◎印は新加盟、○印は再加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	12	幼	愛 和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上 分	妻 鳥	◎松 柏
			三 島	中曾根	中之庄	寒 川	
		中	三島西				
新 居 浜 市	10	幼	ひかり				
		小	◎金 子	◎高 津	惣 開	垣 生	神 郷
			泉 川				
		中	西	泉 川			
西 条 市	12	高	◎新居浜西				
		保	◎東予南	東予中央	田 野	中川さくら	めぐみ
		幼	◎東予南	◎めぐみ			
		小	石 根	三 芳	中 川		
		中	西条北				
今 治 市	44	高	西 条				
		保	白 鳩				
		幼	しまなみの杜	晴 心	空と海		
		小	吹 揚	別 宮	常 盤	近 見	立 花
			桜 井	富 田	清 水	日 高	乃 万
			波止浜	鳥 生	国 分	朝 倉	鴨 部
			九 和	波 方	大 西	亀 岡	菊 間
			吉 海	宮 窪	上 浦	大三島	岡 村
		中	日 吉	近 見	立 花	桜 井	南
			西	北 郷	朝 倉	玉 川	大 西
			菊 間	大 島	伯 方	大三島	○関 前
上 島 町	7	小	魚 島	弓 削	生 名	岩 城	
		中	魚 島	弓 削	岩 城		
松 山 市	84	保	生 石	堀 江	もものはな	えひめ乳児	こどものくに
			太山寺	ひよこ	虹のそら		
		幼	愛大附属	坂 本	愛 媛	愛媛星岡	さくら
			◎花 園	大 護	道後聖母	番 町	松山星岡
			桃 山	コイノニア			

		小	愛大附属	番 町	味 酒	八 坂	東 雲
			新 玉	雄 郡	素 鷲	清 水	堀 江
			潮 見	久 枝	和 気	三津浜	宮 前
			高 浜	味 生	桑 原	生 石	垣 生
			道 後	湯 築	余 土	湯 山	伊 台
			久 米	◎小 野	たちばな	椿	◎北久米
			味生第二	さくら	みどり	福 音	姫 山
			浅 海	難 波	立 岩	正 岡	北 条
			河 野	栗 井	中 島		
		中	雄 新	鴨 川	内 宮	津 田	余 土
			久 米	南	北条北	○北条南	中 島
			松山東雲				
		高	愛大附属	北 条	松山東	松山南	松山北
			松山商業	松山工業	新 田	松山聖陵	松山東雲
東 温 市	21	保	南吉井	双 葉	拝 志	南吉井第二	川 内
			上 林				
		幼	重 信	北吉井	川 上	東 谷	西 谷
			北吉井	南吉井	拝 志	上 林	川 上
		中	東 谷	西 谷			
			重 信	川 内			
伊 予 市	13	小	南山崎	北山崎	郡 中	伊 予	中 山
			佐礼谷	下 灘	由 並	翠	
		中	港 南	中 山	双 海		
		高	伊予農				
松 前 町	5	幼	エンゼル				
		小	北伊予	岡 田	松 前		
		高	伊 予				
砥 部 町	6	幼	砥 部				
		小	麻 生	宮 内	砥 部	広 田	
		中	砥 部				
久万高原町	12	幼	◎仕七川				
		小	明 神	久 万	畑野川	直 瀬	父二峰
			面 河	仕七川	美 川	柳 谷	
		中	久 万	美 川			
大 洲 市	21	保	大 洲	喜 多	栗 津	菅 田	新 谷
			三 善	南久米	大 成	肱 南	肱 北
			徳 森	五 郎	大 和	白 滝	長 浜
			肱 川				
		幼	大 洲	久 米	平 野		
		小	栗 津				
		中	大洲東				
内 子 町	4	幼	内 子				
		小	石 畳	天 神	小 田		
八 幡 浜 市	10	小	松 蔭	白 浜	神 山	千 丈	日 土

			川 上	双 岩	喜須来	川之石	宮 内
伊 方 町	9	小	伊 方	水ヶ浦	九 町	三 机	大 久
			三 崎				
		中	伊 方	瀬 戸	三 崎		
西 予 市	24	保	西予市俵津	西予市多田	宇 和	西予市野村	
		幼	野 村	惣 川	三 瓶		
		小	明 浜	多 田	中 川	石 城	宇和町
			皆 田	田之筋	野 村	大野ヶ原	惣 川
			城 川	三 瓶			
		中	明 浜	宇 和	野 村	城 川	三 瓶
宇 和 島 市	12	幼	伊 吹	村 井			
		小	明 倫	宇和津	鶴 島	○天 神	住 吉
			高 光	成 妙	三 間	二 名	
		高	宇和島東				
松 野 町	3	小	松野東	松野西			
		中	松 野				
鬼 北 町	3	小	好 藤	三 島	近 永		
愛 南 町	26	保	家 串	柏	御 荘	長 月	長 崎
			はまゆう乳児	城 辺	緑	一本松	船 越
		小	◎家 串	柏	平 城	長 月	城 辺
			緑	僧 都	久 良	東 海	一本松
			篠 山	福 浦	船 越		
		中	御 荘	城 辺	篠 山		



校 種	校(所・園)数	メンバー数
保 育 所	50	3,433
幼 稚 園	37	5,241
小 学 校	181	49,952
中 学 校	54	13,958
高 等 学 校	16	1,578
計	338	74,162

(2) 事業概要

①本社主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会	5 月 25 日～27 日	東京都 国立リハビリテーション記念青少年総合センター	1
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6 月 28 日～29 日	東京都 本社	1
青少年赤十字国際交流事業	11 月 22 日～25 日	東京都 国立リハビリテーション記念青少年総合センター	1

青少年赤十字指導主事研究会	1月9日～10日	東京都 本社	2
青少年赤十字高校生スタディ・センター	3月22日～26日	山梨県 東照館	2

②ブロック主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長及び事務担当者会議	10月17日～18日	広島県 広島市	2

③支部主催行事

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	5月2日	日赤愛媛県支部	31
第1回青少年赤十字常任委員会	5月19日	日赤愛媛県支部	22
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5月26日	日赤愛媛県支部	11
第1回高等学校青少年赤十字協議会	5月26日	日赤愛媛県支部	88
青少年赤十字指導者講習会	7月23日～24日	平成30年7月西日本豪雨災害の影響により開催中止	
青少年赤十字高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター	7月28日～30日	台風21号の接近に伴い開催中止	
第2回青少年赤十字常任委員会	8月27日	日赤愛媛県支部	15
第2回高等学校青少年赤十字協議会	10月20日	日赤愛媛県支部	53
第60回青少年赤十字研究会	11月2日	四国中央市中之庄小学校	138
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月17日	松山市 えひめ青少年ふれあいセンター	220
第3回青少年赤十字常任委員会	2月23日	日赤愛媛県支部	13
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	4,528
愛媛県青少年赤十字だより	年1回	2,500部発行	

7. 保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施いたしました。

(1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師やコメディカルによる講演・個別健康相談、看護師による生活指導、血圧測定、体脂肪測定、検尿等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	開催日	場所	演題	参加者数
1	6月15日	西条市東予 総合福祉センター	眼の老化と病気について 眼の老化と眼の病気	95
2	7月19日	八幡浜市文化会館 (ゆめみかん)	難聴について	災害にて中止
3	8月29日	西予市野村 保健福祉センター	薬の上手な使い方	災害にて中止
4	9月 7日	瀬戸町民センター (瀬戸公民館)	尿のトラブルについて 日常生活上の注意	67
5	9月12日	宇和島市 総合福祉センター	腰の痛みと腰の病気について	災害にて中止
6	12月12日	川之江 ふれあい交流センター	認知症について	41
7	2月5日	新居浜市 総合福祉センター	高齢者の栄養学 (低栄養)	83
合 計				286

(2) ひだまり赤十字



高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、ストレッチ体操、レクリエーション、血圧測定、介護相談等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

	月 日	場 所	参加者数
1	9月13日	佐礼谷生活改善センター (伊予市)	40
2	9月14日	町見公民館 (伊方町)	24
3	9月25日	垣生公民館 (新居浜市)	27
4	1月17日	御荘文化センター (愛南町)	36
合 計			127

(3) んくもり子育て広場



乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

	開催日	場所	演題	参加者数
1	10月 3日	川内健康センター (東温市)	子どもの虫歯予防 幼児安全法短期講習	41
2	1月 15日	新谷公民館 (大洲市)	幼児安全法短期講習	25
合 計				66

(4) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を体験しました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりであります。

	奉仕団及び加盟校	月 日	場 所	参加者数	参加者数
1	伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立中之庄小学校	10月2日	四国中央市立 中之庄小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	6 61 4 2 0 0 2 75
2	今治市吉海赤十字奉仕団 今治市立吉海小学校	10月15日	今治市立 吉海小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	20 24 3 10 0 10 1 68
3	東温市赤十字奉仕団 東温市立上林小学校	10月30日	東温市立 上林小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	16 27 9 6 11 0 1 70
4	内子町赤十字奉仕団 内子町立天神小学校	11月6日	内子町立 天神小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	30 31 5 2 20 0 1 89

5	川之江赤十字奉仕団 四国中央市立妻鳥小学校	11月15日	四国中央市立 妻鳥小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	21 50 5 3 11 0 2 92
6	伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島東中学校	11月27日	四国中央市立 三島東中学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	7 0 0 2 0 29 1 39
7	伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立寒川小学校	12月4日	四国中央市立 寒川小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 56 5 3 0 10 2 86
8	伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	12月4日	四国中央市立 三島小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	15 45 4 2 0 2 1 69
9	伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市松柏小学校	1月28日	四国中央市 松柏公民館	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	11 81 4 3 0 3 1 103
合 計					691



(5) 赤十字健康大学



長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、平成 30 年度は「元気で若々しくすごすための健康学」をメインテーマとして、医師やコメディカル等が講演を行いました。

実施状況は次のとおりであります。

開講日	演 題	参加者数
9 月 15 日	生活習慣病予防について	202
10 月 20 日	難聴について	170
11 月 17 日	尿のトラブル	157
12 月 15 日	高齢者の栄養学（低栄養）	149
1 月 19 日	薬の上手な使い方	135
2 月 16 日	災害時にも元気であるために	138
合 計		951

8. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状態の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成 23 年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国 9 県支部はこれらの事業に対し、総額 700 万円(当支部負担 755,522 円)を援助しました。

9. 医療事業

大正2年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成26年度から新病院建設事業（1期～3期）を進めており、昨年1月には1期工事に当たる北棟がオープンしました。

現在は、2期工事にあたる病棟部門を主とした10階建の南棟建設に着手しております。

また平成31年2月には内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）を導入し、4月からの稼働に向けて整備を行いました。このことにより、最新の治療法を取り入れることができ、より質の高い医療が提供できるものと考えております。

なお、グランドオープンは令和4年2月を予定しております。



平成30年1月完成（北棟）



ダヴィンチ



令和4年新病院完成予定

【基本理念】 人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

- 【基本方針】
1. 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
 2. 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
 3. 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
 4. 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
 5. 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
 6. 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
 7. 健全経営の維持に努めます。

【病院概要】（平成30年度実績）

許可病床数 / 632 床

診療科目数 / 31 診療科

職 員 数 / 1,483 人（医師 198 人・看護師 764 人・その他 521 人）

患 者 数 / （外来）延患者数 390,094 人 ・ 1 日平均 1,605.3 人

（入院）延患者数 192,085 人 ・ 1 日平均 526.3 人

10. 血液事業

当支部においては、昭和 40 年 3 月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に対処してまいりました。

【基本理念】 愛媛県赤十字血液センターは、人間愛の赤十字精神に基づき、献血による安全な血液を、患者様にいつでもご提供できるように努めます。

平成 30 年度献血者数は次のとおりです。

献血種類	献血者数
200m L 全血献血	69 人
400m L 全血献血	37, 298 人
血漿成分献血	7, 121 人
血小板成分献血	5, 540 人
合 計	50, 028 人



11. 看護師養成

当支部においては、松山赤十字看護専門学校を開設し、赤十字の理念に基づき、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護師を育成してきました。

赤十字看護師として、国内外の救護活動においても力を発揮できる救護看護師、また広く社会の発展に貢献できる看護実践者の育成に努めてきました。

平成 30 年度の養成人員は次のとおりであります。

3 年生	計
29 人	29 人



第 105 回卒業式（平成 31 年 3 月 1 日）



災害救護演習（平成 30 年 10 月 1 日）

日本赤十字社では今後の赤十字看護師養成の方向性として大学教育を主体とした質の高い看護教育への移行を進めることとしております。

愛媛県支部においても看護基礎教育の再構築について本社が提示した 4 つの再構築のパタンに基づき、赤十字以外の大学と提携した赤十字看護師の養成を推進していくこととしております。

このため、松山赤十字看護専門学校は、平成 28 年度を最終募集年度とし、28 年度入学生が卒業する 30 年度末をもって閉校することとなりました。

12. 役 員

(令和元年5月15日現在)

役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中村 時広	愛媛県知事
副 支 部 長	山口 真司	愛媛県保健福祉部長
〃	大城 一郎	愛媛県市長会会長
〃	稲本 隆壽	愛媛県町村会長
監 査 委 員	北澤 剛	松山市副市長
〃	橋本 顕治	八幡浜市副市長
〃	水野 邦洋	公認会計士
地区選出評議員	福山 勝幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	山岡 弘和	松山市社会福祉担当部長兼福祉事務所長
〃	西市 裕二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	山本 勇	今治市連合自治会監事
〃	宮本 直明	宇和島市自主防災組織連絡連絡協議会会長
〃	田渕 久子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団委員長
〃	小野 正師	新居浜市社会福祉協議会会長
〃	伊藤 優子	新居浜市議会議員
〃	徳永 米子	西条市周桑赤十字奉仕団委員長
〃	二宮 賢一郎	大洲市肱川赤十字奉仕団委員長
〃	上岡 幸子	伊予市赤十字奉仕団監事
〃	石川 祐子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	河野 敏雅	西予市社会福祉協議会会長
〃	横川 武広	上島町社会福祉協議会会長
〃	高山 稔明	久万高原町副町長
〃	升田 年紀	松前町副町長
〃	上田 文雄	砥部町副町長
〃	小野植 正久	内子町副町長
〃	濱松 爲俊	伊方町副町長
〃	中井 慶仁	松野町副町長
〃	井上 建司	鬼北町副町長
〃	岡田 敏弘	愛南町副町長
支部長選出評議員	佐伯 要	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	新山 富左衛門	愛媛経済同友会代表幹事
〃	松尾 和久	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	北澤 剛	松山市副市長
〃	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	横山 博文	西予市社会福祉協議会常務理事
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長

施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電話番号
日 本 赤 十 字 社 愛 媛 県 支 部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目 3 番 40 号	089-921-8603 945-6792
松 山 赤 十 字 病 院	〒790-8524 松山市文京町 1 番地	089-924-1111
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町 80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大 街 道 献 血 ル ー ム	〒790-0004 松山市大街道 1 丁目 4-17	089-932-0900